



平成27年8月10日

各 位

上場会社名 兵機海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 大東 洋治
 (コード番号 9362)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 田中 康博
 (TEL 078-940-2351)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	170	130	90	7.60
今回修正予想(B)	6,500	110	90	60	5.07
増減額(B-A)	—	△60	△40	△30	
増減率(%)	—	△35.3	△30.8	△33.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	6,973	135	109	30	2.59

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	380	300	200	16.90
今回修正予想(B)	14,000	250	200	140	11.83
増減額(B-A)	—	△130	△100	△60	
増減率(%)	—	△34.2	△33.3	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	13,822	316	268	116	9.82

修正の理由

第1四半期連結累計期間の業績は、売上については概ね計画どおりに進捗しておりますが、内航事業で主要取扱貨物である鋼材の国内需要低迷による減産で輸送需要が低迷したこと。外航事業では近海運賃市況の悪化と安値の中国製鋼材が広がり、輸送機会を喪失したこと。港運事業では円安基調による取扱量の減少が予想を上回り収益面に大きな影響がおよびました。第2四半期以降につきましても、若干の回復も見込まれますが、依然厳しい状況が続くと予想されます。この状況を踏まえ、各利益段階について、平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想についても上記のとおり修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上